

北青会

HOKUSEIKAI
since 1961

59th

vol.232

今期テーマ

一笑懸命

一般社団法人 北九州青年経営者会議



〒806-0006
北九州市八幡西区屋敷2丁目14-34
TEL(093)863-0157
FAX(093)863-0404
E-mail : mail@hokuseikai.com
URL : http://www.hokuseikai.com

皆さま新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、私共一般社団法人北九州青年経営者会議の活動にひとたならぬご理解とご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。本年も引き続きよろしくお願い申しあげます。

さて、平成から令和へと元号が変わつて初めての新年を迎えた2020年は、二度目となる東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されておりましたが、我々北青会も本年で創立60周年の節目の年を迎えます。新年の晴れやかな雰囲気の中、先人の築き上げた歴史に敬意を表する共に、その歴史の重みとこれから先の未来に向けて身が引き締まる思いです。我々、北青会は地域活性化と社会福祉への貢献を実現するための活動と、研修会の実施をとおして、活動の基礎となるリーダーシップ及びバイオニアシップを習得し、地域社会活性化を実現することを目的とし活動しています。今期は北青会員が笑顔で北青活動を楽しみ、地域の皆さんを笑顔にしたいという思いの下「一笑懸命」をテーマに活動して参りました。

4月の総会を皮切りに、6月・7月の講師例会では初めての試みとして現役の会員がそれぞれの持つ専門的知識を活かして講師を努めました。6月は久松会員の「来たる災害に備えて心肺蘇生法について」、7月はOBで弁護士の藤井晋先生と同じく現役会員で弁護士の西村裕一会員による「臨時開設北青会法律相談所 at 千草ホテル」と題しまして講

義を行つて頂きました。日頃の会とは違った姿にハッとさせられると共に身近に彼らがいてくれる事にすごく安心感を感じました。5月は「健康経営について」、11月は「SDGs持続可能な開発目標」についても学び、経営者としてこれから求められる知識の醸成にも努めて参りました。

さて、平成から令和へと元号が変わつて初めての新年を迎えた2020年は、二度目となる東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されておりましたが、我々北青会も本年で創立60周年の節

目の年を迎えます。新年の晴れやかな雰囲気の中、先人の築き上げた歴史に敬意を表する共に、その歴史の重みとこれから先の未来に向けて身が引き締まる

思いです。我々、北青会は地域活性化と社会福祉への貢献を実現するための活動と、研修会の実施をとおして、活動の基礎となるリーダーシップ及びバイオニアシップを習得し、地域社会活性化を実現することを目的とし活動していま

す。今期は北青会員が笑顔で北青活動を楽しみ、地域の皆さんを笑顔にしたいという思いの下「一笑懸命」をテーマに活動して参りました。

4月の総会を皮切りに、6月・7月の講師例会では初めての試みとして現役の会員がそれぞれの持つ専門的知識を活かして講師を努めました。6月は久松



会長挨拶

第59期会長

藤田拓之（59期）

藤田 拓之（59期）

方が受け入れを断つてはいる状況でした。

今回のボランティア活動で我々だけではなく地域のみなさまも同じように災害への相互協力の意識が高まっていると感じました。11月9日には協定団体として「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」にも会員7名で参加させて頂きました。

前後しますが、昨年に引き続き10月には「ヤングサンタチャリティー吹奏楽コンサート」をコンフォート・ウインドアンサンブル様のご協力の下、開催致しました。

また、今年度から会員相互の親睦と北青活動の魅力を色々な場面で外部に発信していくべく、定期的に親睦イベントを開催しました。5月の筋掘りから始まり

12月のソバ打ち体験まで、季節に合わせたイベントを開催し、多数の会員・家族にして行くべく、定期的に親睦イベントを開催しました。会員相互の親睦はも

とより、会員家族の絆も強まり、こども達も自然や大人達との触れ合いの中で、成長してくれたと感じています。

今期は会員増強も主体的に取組んで来た結果、これまで4名の新入会員をお迎えする事が出来ました。

社会貢献事業につきましては、8月8日に北九州市社会福祉協議会様と災害時相互協力協定を締結しました。協力協定は北九州市で自然災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的に行うための協定であり、今後も地

域社会の一人として有事の際に、少しでも参る所存でございます。9月に豪雨により甚大な被害を受けた佐賀県武雄市での災害ボランティアに参加致しました。

我々が活動させていたいた日は平日に活動して参りました。6月は久松

より甚大な被害を受けた佐賀県武雄市での災害ボランティアに参加致しました。

我々が活動させていたいた日は平日に活動して参りました。6月は久松

も関わらずすでに受け入れ人数がいっぱいの状況で、ボランティアセンターのいります。

11月例会



令和元年11月例会は、北青会創立60周年記念事業準備委員会の企画選定会議でした。O.B.の皆様が作りあげてきた北青会の歴史、伝統を紐解く時間を頂き、関係諸団体、行政機関、企業、そして市民の皆様との深い関わりを改めて認知し、60年の節目に開かれる機会を頂いていることに感謝を申し上げます。当委員会では今期様々な企画を検討してまいりました。

企画選定会議では残念ながら来年度開催が難しく、地域での新しい祭り、カンボジアとの国際交流などお蔵入りを決めた案も多数ございました。

この企画は北青会らしくない、もっと多くの方に感動を与えるのでは、「これは誰もやつたことがない、これは出来るのか、いやこっちの案だ、つかり合いがございました。しかし、これは現役会員の北青会に対する熱い想いの表れです。60周年記念事業の実行時にどれだけ多くの熱男・熱女を作り出せるか、会員一同で多く意見のぶつかり組ませていただきたい。

O.B.をはじめ、関係諸団体皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

例会運営委員会 委員長
宮本 英将 (59期)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



去る令和元年11月13日(水)に横山智之様を講師にお招きして、SDG's (持続可能な開発目標)について講演をいただきました。

普段社業に邁進している我々北青会員にとって、世界レベルの環境問題や食料問題、貧困問題などを認識し、企業経営者として、先手を打つていかに取り組むかという壮大なテーマでした。

世の流れに機敏に対応し、いかに状況変化を行なっていくのか、会員の企業経営、北青会の今後の事業運営に寄与できればとの会長の藤田より総括をして閉幕しました。

7月例会



例会運営委員会
副委員長
永田 弘一 (59期)

令和元年7月10日(水)千草ホテルにて、7月度例会を開催いたしました。

「臨時開設北青会法律相談所 a t 千草ホテル」と題し、当会のO.B.で弁護士の藤井晋先生と同じく現役会員で弁護士の西村裕一会員を講師に招いて例会を行いました。

弁護士さんの選び方や日常生活やニュースで気になる、法律に関するこ

とを色々お聞きしました。お二人の的確なご指摘と弁護士さんとしての知見は、非常に勉強になりました。

普段の生活において頻繁に弁護士さんに相談することは、中々無いかもしませんが、個人では交通事故や会社運営においては壳掛け金回収など本当に困ったときには、相談に乗ってくれる弁護士さんが北青会にお二人もいるという事を改めて実感し、凄く心強く感じました。

例会運営委員会 委員長
宮本 英将 (59期)



60周年記念事業準備委員会



60周年記念事業準備委員会
副委員長
中村 万生 (62期)

60周年記念事業準備委員会です。2020年に北青会創立60周年を迎えるにあたり、O.B.の皆様が作りあげてきた北青会の歴史、伝統を紐解く時間も頂き、関係諸団体、行政機関、企業、そして市民の皆様との深い関わりを改めて認知し、60年の節目に開かれる機会を頂いていることに感謝を申し上げます。当委員会では今期

様々な企画を検討してまいりました。企画選定会議では残念ながら来年度開催が難しく、地域での新しい祭り、カンボジアとの国際交流などお蔵入りを決めた案も多数ございました。

この企画は北青会らしくない、もっと多くの方に感動を与えるのでは、「これは誰もやつたことがない、これは出来るのか、いやこっちの案だ、つかり合いがございました。しかし、もつと出来るはずだ!」この準備委員会を通じて会員同士で多く意見のぶつかり組ませていただきたい。

O.B.をはじめ、関係諸団体皆様には今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



5月例会



例会運営委員会
委員長
宮本 英将 (59期)

令和元年5月15日(水)千草ホテルにて、5月度例会を開催いたしました。

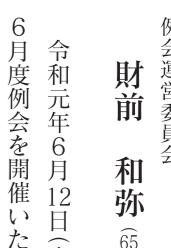
「健康経営」をテーマにアクサ生命保険株式会社 窪山寛康様よりご講義いただきました。

少子高齢化やメンタルヘルス、働き方改革など背景に人手不足や労働生産性の向上といった経営課題への取り組みとして健康経営が注目されています。欠勤による会社への損失はイメージしやすいですが、体調不良やモチベーション低下により、出勤していても本来のパフォーマンスが発揮できないことによる会社への損失もあるということを学ぶことができました。協会けんぽ福岡支部でも、「健康宣言ふくおか」という名称で、無料で健康経営をサポートしてくれるようです。また認定制度やインセンティブなどの特典もあるそうです。

人材不足が叫ばれている昨今ですが、新たな人材だけでなく、今いる人材についても対策が必要であることがわかり、今回学んだことを日頃の経営に役立てていきたいと思っています。



6月例会



例会運営委員会
委員長
財前 和弥 (65期)

令和元年6月12日(水)千草ホテルにて、6月度例会を開催いたしました。

初の試みとして講師は当会会員、久松隼人による「来たる災害に備えて心肺蘇生法について」実演を交えた講演を行つて頂きました。冒頭の藤田会長の挨拶で、「近年の大規模災害のみならず、悲惨な交通事故報道が相次いでいる最近の重要な講演です。」との一節があり、会員一堂真剣な眼差しで受講しました。

講師の久松会員は現役の消防士であり、分かりやすく、引き締まつた講演となり、心肺蘇生法の実演においては、久松会員の指導の下、当会会員も心肺蘇生訓練用人形を使い心肺蘇生を体験できたことは非常に勉強になりました。また、AED(自動体外式除細動器)の使用についても学ぶことができました。家族や仲間の万一の時に、慌てず少しでも助かる可能性を自分たちで上げられる心肺蘇生法を学べたことが非常に良かつたです。久松会員の普段見せないプロの顔を皆肌で感じられて、大好評となりました。



親睦納涼例会



例会運営委員会
副委員長
財前 和弥 (65期)

令和元年8月21日(水)千草ホテルにて、8月度例会を開催いたしました。

今期は活性化委員会が多く拡大例会と題した例会がありましたが、せんでしたので、8月度例会は親睦納涼例会と題しまして、沢山のオブザーバーをお招きし、いつもとは違う雰囲気の中、北青会の色々な一面を感じて頂くべく、例会を開催しました。

例会では藤田会長に挨拶を頂き、委員会報告の中で各委員会の活動を紹介したあと懇親会に入りました。懇親会ではみなさん積極的に名刺交換を行つて頂いていました。

また、メンタルパフォーマーとして各方面で活躍中のライヴ氏による、パフォーマンスも行われ、会場の参加者を巻き込んでのパフォーマンスは大いに盛り上がりました。

暑氣払いとこれから会員増強に向けた有意義な例会になつたと思います。ご参加頂きました10名のオブザーバーの皆さんありがとうございました。



災害ボランティア



復興ボランティアに参加致しました。早朝より総勢13名で現地へ向かいました。外部からでは分かりにくい屋内の被害状況は腰の上まで水が上がってきた後など衝撃的な状況でした。会員達のパワーと団結で作業を早めに完了し、会長からの提案で高齢者のお宅という事もあり清掃までできました。もう少し時間の余裕があつた為、別のお宅の作業にも伺いました。被災地の復旧作業は終わりがなく限りなくあります。近年災害ボランティアが日本中で浸透しておりますが現実問題として、現地の受け入れ態勢は大変な難しさがあります。今回もボランティアの申し込みをした際 受け入れをトップされる可能性もありました。いつどこで起こるか分からぬ災害に備え北青会も今年から社会福祉法人 北九州社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結しました。本業もありながら難しいことではありますが繋がりつて本当にすごいと思う一日でした。

A portrait photograph of Kusunoki Toshiyuki, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark pinstripe suit, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

災害時相互協力協定

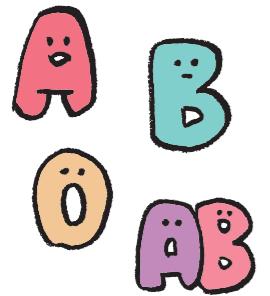


協議会さまと一般社団法人北九州青年経営者会議（北青会）は災害時相互協力協定を締結しました。災害時相互協力協定は北九州市内で自然災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的に行うための協定です。近年、豪雨や台風など自然災害が多発しており、我々が暮らす北九州も例外ではありません。これまでの災害ボランティアの経験を活かし、有事の際に地域の皆さまのお役に立てるよう準備して参ります。

また、令和元年11月9日(土)には、北九州市社会福祉協議会さまが主催する「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」に会員7名で参加させて頂きました。これまで6ヶ所の災害ボランティアに参加させていただき、ボランティア側として受け入れから活動までの一連の流れは把握していましたが、運営側として今回の訓練に参加させていただき、円滑にボランティアの皆様を活動現場に送り出す難しさや被災者の皆様のご要望を聞き出す難しさを体感しました。協定締結団体の一員として、有事の際には迅速かつ的確な行動出来るよう、今後も会員一同研鑽に励んで参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

吉松 和幸
（61期）
委員長
総務委員会

献血活動



パーにて献血活動を行いました。多くのO B会員の先輩方や現役会員のご協力、ご参加誠に有難うございました。

病気や怪我などで多くの輸血を必要とされていますが若い世代の献血者数は減少し血液が不足しているとよく耳にします。献血は『命を繋ぐボランティア』とも言われており、私自身、昨年の北青会入会からこの献血活動に参加し献血を始めました。

また献血は検査結果で自分の血液の状態を把握できるなど、健康管理に役立ち、協力そのものが、健康であるとのバロメーターの一つにもなります。

たくさんの命を救う為、一人でも多くの方々に献血を行つていただけるよう今後も献血活動を定期的に続けていきたいと思います。引き続き皆様のご協力ををお願いします。

大野 達弘
社会貢献委員会
副委員長

9月持ち出し例会

令和元年9月21日(土)、22日(日)、大分県別府市にて持ち出し例会を行いました。

出発前から台風が直撃するという予報ではありましたがあ、事務局から貸切バスに乗車し大分県を目指し出発しました。道中、車内では話題や笑いが絶えず和気あいあいと目的地までの時間を過ごしていました。米沢観光園にて地鶏バーベキューの昼食を取り、ホテルに向かいました。ホテル到着後は、例会を行った後、宴席となり笑いの絶えない時を過ごしました。

生憎の雨により全工程は行えなかつ

たものの、持ち出し例会をきっかけに仲良くなったり、より関係が深まつたり、新たな一面を知れる有意義な2日間となりました。

同世代だから話せる、共感できる事が多く、学生時代に戻ったようにみんなで笑い合えるのは、北青会の良さの一つではないかと思います。

前期同様、例会から参加してくれた方もいました。

参加して頂いた皆さん本当にありがとうございました。お疲れ様でした。





クリスマス例会

令和元年12月15日(日)にホテルクラウンパレス北九州にてクリスマス例会を行いました。クリスマス例会は唯一、会員のご家族をお招きする例会です。

会員とそのご家族に喜んで頂けるよう、ゲームやプレゼント配布を行いました。

ゲームについては、会員のお子さんに立方体のティッシュ箱を一度に何個運べるかな?ゲームにチャレンジしてもらいました。意外とむずかしく、最高記録は6個でした。5個を積み上げたお子さんも3人もいらっしゃって、大接戦となりました!また、女性の皆さんで腕相撲大会を行いました。皆さん強くてびっくりしました。

プレゼント配布については、変り種のドローンや、年末の大掃除に大活躍の高圧洗浄機など目玉商品を取り揃え、抽選により行いました。歓喜の声も上がり、皆さん、楽しそうでした。

最後になりましたが、たくさんの皆様にご参加頂きまして、誠にありがとうございました。



例会運営委員会
財前 和弥
(65期)

例会運営委員会
山本 美和
(64期)

新入会員挨拶



河合 祐一
(64期)



甲斐田 元氣
(74期)

この度入会いたしました甲斐田元氣と申します。ミハラ九州株式会社にて管理課業務に従事しております。弊社の代表取締役である三原崇敬OBの推薦をいただき入会いたしました。入会からまだ数ヶ月しか経っておりませんが、様々な活動に参加させていただく中でこのような社会との関わり方もあらゆるのだと気付かされました。また、北青会では大半の現役会員の方と一回り以上歳が離れておりますので不安もありますが、萎縮することなく地域の活性化・社会貢献活動に貢献できるよう精一杯努力していきます。皆様にはご迷惑をお掛けすると思いますが、諸先輩方の御指導をたまわりながら成長していくことを思っておりますので、宜しくお願いいたします。

この度入会いたしました河合祐一と申します。暖かく迎えてくださった皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。私は北九州市に生まれ、高校卒業までこの地で育ちました。大学、社会人と他県で過ごしましたが、父の事業をきっかけに戻ってまいりました。現在は油圧ホースという工業用の品物を専門で扱う事業に携わっております。

10月にはヤングサンタチャリティーコンサート事業に関わることで、北青会事業の存在意義や北九州市に与える影響などを大きく感じ取る事ができました。未熟者ではございますが、今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。



親睦イベント



吉松 和幸
委員長
(61期)

今年度、“一笑懸命”的テーマを表現する一つの活動として、親睦イベントを企画しました。会員と家族の親睦を深め、みんなが笑顔になる事で、北青会の魅力を外部の皆さんにも発信して行けるよう、これまで6回開催しました。

4月は筍掘り、5月はピッタ作り、6月はそうめん流し、8月は川遊び、9月は魚釣り、12月はそば打ちを行い、季節に合わせ、その時に楽しめる事を家族と一緒に体験しました。普段の活動では見られない素の顔を見れたり、みんなで時を同じくする事で会員相互や家族との距離がグッと近くなつたようを感じました。また、こどもたちは色々な体験や人との触れ合いを通じて、社会性や人間関係を身に付けてくれたと感じています。

これからも北青会の魅力の一つとして継続的に開催し、会員同士、会員と家族を繋ぐ絆をより強いものにして行きたいと思います。



ヤングサンタチャリティー吹奏楽コンサート



河合 祐一
(64期)

社会貢献委員会



令和元年10月14日(日)に昨年に引き続きヤングサンタチャリティー吹奏楽コンサートを開催させて頂きました。たくさんの方々にご来場頂きましたこと、感謝申し上げます。

「コンフォート・ウインドアンサンブル」様の素晴らしい演奏にこどもおとなも大きな感動を覚えたと思います。

演奏していただいた楽曲はこどもたちが大好きなものばかりで、音楽に合わせて一緒に手を叩いたり、体を揺らして楽しんでいる姿がとても印象的でした。

中には大きな音にびっくりして泣き出してしまうこどもたちもいましたが、こどもの鳴き声もコンサートを奏でる音の一つとして、感じて頂けたのではないかと思います。また、コンサートの途中でサンタさんや様々なキャラクターが登場して、泣いていたこどもたちも笑顔でコンサートの続きを楽しんでくれました。

音楽を通じて笑顔になるこどもたちを見て、改めて本事業の素晴らしさを再認識できましたとともに、12月のヤングサンタへの思いを強くしました。



第21回 ヤングサンタ



令和元年12月22日(日)にヤングサンタチャリティー吹奏楽コンサートから引き続き沢山の方々にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

今回は北九州近郊の児童養護施設5件、病院3件、一般家庭30件のこどもたちの元にお伺いさせて頂きました。突然のサンタさん来訪に多くのこどもたちが驚き、そして大変喜んでくれてい

ました。

こどもたちにとつて、クリスマスやサンタさんという存在はとても大切なものだということを改めて考えることのできる1日となりました。

来年は今年よりも多くのこどもたちに夢とサプライズをお届け出来るよう、会員にみんなで頑張って行きたいと思います。

社会貢献委員会

河合 祐一
(64期)

社会貢献委員会

河合 祐一
(64期)

委員長
(64期)

ました。

のボランティアの方々にも普段の生活では経験のできない貴重な時間を過ごしていただけたようでした。

また、ヤングサンタ、サンタクロースのボランティアの方々にも普段の生活では経験のできない貴重な時間を過ごしていただけたようでした。

来年は今年よりも多くのこどもたちに夢とサプライズをお届け出来るよう、会員にみんなで頑張って行きたいと思います。

4月度総会



村山 之崇
(63期)
総務委員会
副委員長

平成31年4月17日(水)、千草ホテルにて
59期4月度総会を開催いたしました。
平成30年度事業報告並びに収支決算
報告、監査報告、平成31年度事業計画案
予算案について報告があり、無事総会を
終了することができました。

最後になりますが、お忙しい中、本総
会に出席頂きました監事の永友稔〇B、
どうもありがとうございました。

10月度総会



次期会長／堤一
次期副会長／田代秀穂
次期専務理事／小田泰三
次期常務理事／村山之崇
次期監事／樋熊靖隆
次期監事／重光浩臣

令和元年10月9日(水)、千草ホテルにて
59期10月度総会が開催されました。次期
理事の推薦があり60期理事が左記のよう
に決定致しました。

第2号議案の承認により左記の通り次
期監事が選出されました。



編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。59期の活動も残すところ2カ月余りとなりました。最後まで悔いを残すことの無い様、会員一丸となって北青会活動に“一笑懸命”打ち込んで行きたいと思います。

59期 総務委員会一同



入会のご案内

PIONEER SHIP
LEADER SHIP

今どきの
「リーダー」
求む!!

40歳までの若手経営者
自薦他薦を問いません。